

都市計画審議会 要旨

日時：令和7年10月14日（火）13時30分～

場所：富士見町役場4階 全員協議会室

次第

1. 開会
2. 自己紹介
3. 審議会成立宣言
4. 報告事項
 - (1) 令和6年度都市計画道路見直し等に関するアンケート調査結果について
 - (2) 今後の都市計画道路の見直し方針について
 - (3) 新たな都市計画道路網（素案）について
5. その他
6. 閉会

○参加者

委員13名中、11名参加

○報告事項要旨（建設課より富士見町都市計画道路の見直しに係る説明）

- ・令和7年1～2月に町民を対象としたアンケートを実施し、その集計内容及び住民ニーズについて説明した。
- ・アンケート結果を踏まえた今後の都市計画道路の見直し方針について説明した。
- ・今後の都市計画道路の見直し方針に基づき、新たな都市計画道路網の素案について説明した。

○報告事項に対する主な意見・質疑

No		意見・質疑
1	質問	資料中、見直しの基本方針と、新たな見直し方針の関係性を確認
	回答	見直しの基本方針と、アンケート結果と整合が取れていなかった場合は基本方針を再検討する予定であったが、アンケート結果と整合が取れていたため、矛盾はない
	質問	新たな都市計画道路網（素案）の図面について凡例をつけるよう指摘
	回答	修正し対応する
2	質問	路線の整理内容と県との協議状況を確認
	回答	長野県（都市・まちづくり課及び諏訪建設事務所）とは協議を重ね、新たな見直し方針及び新しい都市計画路線網（素案）に概ね同意済み
3	質問	新たな都市計画道路網（素案）の図面中、矢印表現に一部現道から外れている箇所があると指摘
	回答	修正し対応する
4	質問	人口密度と居住誘導区域の維持可能性を質問
	回答	立地適正化計画における居住誘導区域内の居住人口密度について、将来の町の姿を考慮し、密度を維持するためにも都市計画道路の見直しは必要
5	質問	整備の目標年次について質問
	回答	数十年スパンだが、やると決めたものは責任を持って進める計画に変更する

6	質問	富士見駅の「東口・西口」という呼称の確認
	回答	西山地区側を意識して便宜的につけたものであり、現時点では仮称
7	意見	町民センターの老朽化について確認
	回答	建築から約 50 年が経過するところ、耐震補強（ブレース設置）に実施済みだが各所で老朽化が進んでいる

○総括

今回の審議会では、住民アンケート結果に基づく「現道活用・歩行者空間強化」を基本方針とした新たな道路網素案が事務局より示されました。

アンケート結果と素案との関係について、事務局から「アンケートで示された住民意向と素案の方向性は整合している」との説明がなされ、委員からは凡例の不足や図面表現の修正など資料の改善を求める意見は出たものの、素案の方向性そのものに対する反対意見はありませんでした。

素案において、駅前通りの整備方針が課題であることを踏まえ、長野県との連携のもと、課題のある道路については概略設計により複数のルート案を作成し、沿線住民・商店主との合意形成を図りながら慎重に進めていくという事務局の説明がありました。これに対し、委員からは特段の異論は示されませんでした。JR を跨ぐ立沢橋付近の勾配・交差点位置が課題であるとの指摘があり、事務局もその点を重要課題として認識していることが確認されました。今後の概略設計と住民合意形成を前提とした慎重な進め方について、概ね了承されました。